

要請番号 (JL55422A07)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-------|----------|--------------|------|----|------|--|
| ジンバブエ | G124 野球 | 20～45 歳のみ | 個別 | 新規 | 2年 | ・ 2022/4 ・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

青年・スポーツ・芸術・レクリエーション省

2) 配属機関名（日本語）

スポーツレクリエーション委員会(SRCジンバブエ野球協会
(ミッドランド州))

3) 任地（グエル） JICA事務所の所在地（ハラレ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 5.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

スポーツレクリエーション委員会(SRC)はスポーツ・レクリエーションの普及・推進を担う公的機関。野球協会はSRCの下部組織として2007年に設立。全国に6つの市/州支部を持ち、野球の初等/中等学校等への普及及びリーグ戦運営、代表チーム選抜、コーチや審判の育成などを行っている。過去、グエルにはスポーツ局配属で2名の野球隊員(2010年、2012年)が派遣された実績があるが、今回は野球協会配属となるため新規派遣の扱いとなる。現在、2021年度1次隊の野球隊員がハラレで、2021年度3次隊の隊員がマニカランド州で活動中。2022年度1次隊でブラワヨへも野球隊員が派遣予定。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ジンバブエにおける青年海外協力隊(野球)隊員派遣の歴史は長く、1992年の初代野球隊員派遣から、これまでに20名を超える隊員が派遣されている。ジンバブエ代表チームは南アフリカ共和国、ウガンダ共和国に続き、アフリカ第3位の成績を残しているが、更なる野球の振興には競技人口の増加が欠かせない。現在ミッドランド州では8校が野球に取り組んでおり、配属先としてはさらなる野球の普及活動や選手の技術力向上に取り組む必要があると考えているが、予算、人員、技術力も限られており十分な活動ができていない。こうした現状を改善し、ミッドランド州での野球に関する活動を発展させていくため、これまで当国で長く野球を支えてきた協力隊のサポートが必要だとして本要請が提出された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

野球協会(ミッドランド州)に所属し、配属先の一員として以下の活動を行う。

- 主にグエル市内の小中学校を巡回し子どもたちに野球を指導する
- 現地コーチのスキルアップのための講習会企画運営へのサポート
- 試合や大会の企画運営への協力
- 審判講習会企画運営への協力
- その他、配属先が必要とするサポート

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

バット、グローブ、ボール、ヘルメット(2チーム分程度)、野球専用のグラウンドはない

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚;

活動対象者:
小学校、中学校生徒(10-15歳程度)、
巡回校教員各校1-2名程度(20-40代)、いずれも初心者レベル

| 5) 活動使用言語 | 6) 生活使用言語 | 7) 選考指定言語 |
|-----------|-----------|-----------|
| 英語 | 英語 | 英語(レベル:C) |

[免許/資格等]：（ ） [学歴]：（大卒） 備考：配属先の希望

[性別]：（ ） 備考： [経験]：（指導経験）2年以上 備考：配属先の希望
（競技経験）5年以上 備考：配属先の希望

不要

[気候]: (温暖冬季少雨気候) 気温: (7~28℃位) [電気]: (不安定)
[通信]: (インターネット可 電話可) [水源]: (不安定)

全国的に停電や断水の可能性はあるため、生活面はそれなりに厳しい環境となる。
活動上の移動は、基本的に公共交通機関を利用する。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.